

2024年度 にいがた摂食嚥下障害サポート研究会講演会

【日時】

2024年12月14日（土）13：00－16：30（予定）

【場所】

新潟大学歯学部講堂，ZOOMによる配信のハイブリッド開催

【タイムスケジュール】

12:30 受付開始

13:00 開会挨拶

13:05 **摂食嚥下治療登録医研修 制度説明および症例報告**

座長 辻村恭憲先生（新潟大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野）

制度説明

笹 杏奈先生（新潟大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野）

脳腫瘍術後に長期経過して発症した誤嚥性肺炎に対し病病連携で対応した1例

演者 小松繁樹先生（佐渡総合病院 摂食嚥下外来，歯科医師）

13:25 **症例カンファレンス**（演者の順番は変更の可能性あり）

座長 辻村恭憲先生（新潟大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野）

演者 **「若年性認知症患者の廃用症候群に対する摂食嚥下リハビリテーションの検討」**

高井 晃先生（高井歯科医院，歯科医師）

「口腔ケアロボットの有用性に関する症例報告」

野杵由一郎先生（新潟大学医歯学総合研究科口腔健康科学講座う蝕学分野）

「食べられるだけでは進められない，在宅における食支援の課題」

林 宏和先生（林歯科医院，歯科医師）

14:25 **企業紹介**

15:00 **摂食嚥下障害児童に外食の機会を～お食事会の舞台裏と今後の展望～**

演者 伊藤加代子先生（新潟大学医歯学総合病院口腔リハビリテーション科）

15:20 **“オーラルフレイルに関する3学会合同ステートメント”～新たなステージへの挑戦～**

座長 井上 誠先生（新潟大学大学院医歯学総合研究科摂食嚥下リハビリテーション学分野）

講師 飯島勝矢先生（東京大学高齢社会総合研究機構・未来ビジョン研究センター，医師）

16:30 閉会挨拶

16:30（希望者）**食の支援ステーション見学**

“オーラルフレイルに関する3学会合同ステートメント”
～新たなステージへの挑戦～

飯島勝矢先生

(東京大学 高齢社会総合研究機構 機構長・未来ビジョン研究センター 教授, 医師)

<抄録>

2024年4月1日に3学会合同によるステートメントを発出し、次なるステージに入っていきます。見据える方向性とオーラルフレイル簡易質問票(OF-5)の普及をより多くの国民や他専門職に知ってもらい、多職種連携(特に医科歯科連携)を戦略的に加速したい。健康長寿実現のためには、オーラルフレイル及びフレイル予防に関するより早期からのポピュレーションアプローチが強く求められ、今後いかに国家プロジェクトとして位置づけ、国民にしっかりと落とし込み根付く運動(ムーブメント)としていくのか、その戦略性も含め言及したい。

<略歴>

1990年東京慈恵会医科大学卒業、千葉大学医学部附属病院循環器内科入局、東京大学大学院医学系研究科加齢医学講座 助手・同講師、米国スタンフォード大学医学部研究員を経て、2016年より東京大学高齢社会総合研究機構教授、2020年より同研究機構教授・機構長、および未来ビジョン研究センター教授。他、内閣府「高齢社会対策大綱の策定のための検討会」構成員、内閣府「一億総活躍国民会議」有識者民間議員、厚生労働省「高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に関する有識者会議」構成員、日本学術会議「老化分科会」「高齢者の健康分科会」ボードメンバー